

<p>設計No.</p>	<p>MRKE002-2</p>
<p>シミュレーション条件</p>	<p>【解析ソフト】 wallstat※                  ※京都大学生存圏研究所の中川准教授が開発</p> <p>【入力地震波】震度7の人工地震波※ × 3回</p> <p>※建築基準法で想定する数百年に一度発生する大地震の地震波のスペクトルに一致する様に作成した人工地震波をXYZ軸に合成し、更に震度7まで割り増した独自地震波（パナソニックアーキスケルトンデザイン株式会社にて独自に合成した人工地震波）</p> <p>・本シミュレーションでは、風荷重や積雪荷重は考慮していません。                  （別途実施する許容応力度計算では建築基準法で規定する全ての荷重を考慮します。）</p>
<p>解析動画の見方</p>	<p>シミュレーション動画では、建物がダメージを受けると壁の色が黄色、オレンジ、赤と変化し、赤色に近づくほどダメージが大きい事を示しています。</p>  <p>面材以外の耐力壁である、筋かいは青い線、テクノダンパー（制震壁）は緑の線で表示され、ダメージが大きくなると赤い線の表示になります。</p>  <p>片筋かい      両筋かい      テクノダンパー</p>
<p>動画URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/Y5J9X2rmp68">https://youtu.be/Y5J9X2rmp68</a></p>
<p>動画QRコード</p>	
<p>動画掲載期間について</p>	<p>本シミュレーション動画は、YouTubeにて限定公開動画として提供させていただきます。（URLを御存知の方のみ視聴可能です。）                  視聴期限は設定していません。                  YouTubeサービスの提供状態により予期せず視聴できない場合がございます。</p>